東海ノア
（東海 NOAH）

東海ノア通信

[原子力事業所安全協力協定]

第５号（平成１３年９月発行）
東 海 ノ ア 協 定 事 務 局
(日本原子力研究所・東海研究所内)
Telephone：029-282-5801
E-mail：t-noah@popsvr.tokai.jaeri.go.jp
ホームページアドレス
http://tnoah.tokai.jaeri.go.jp/

東海ノア通信 第５号 をお届けします。

東海ノアの活動を広く紹介し、私どもの活動をご理解いただくため、ホームページを開設しました。

アドレスは、http://tnoah.tokai.jaeri.go.jp/　です。

トピックス

☆活動状況

・活動推進幹事会の活動状況
・自主保安に関する点検協力活動
・安全教育に関する協力活動
・情報交換に関する協力活動
・緊急時に対応するための活動

☆加盟事業所からの紹介

☆今後の活動予定

東海 NOAH：東海村（東海）、那珂町（N）、大洗町（O）、旭村（A）、ひたちなか市（H）

活　動　状　況

○活動推進幹事会の活動状況

・第 13 回 活動推進幹事会の開催(平成 13 年 9 月 14 日)

主な議題：(1) 平成 13 年度上期活動状況について

(2) 自主保安に関する点検協力活動報告書 - 東京大学 - について

(3) 平成 13 年度総合訓練の実施結果について

(4) NS ネット「第 3 回管理者セミナー(東海ノア協賛)」の実施報告について

(5) 平成 13 年度第 1 回安全教育研修の実施について

活動推進幹事会の様子

○自主保安に関する点検協力活動

協定に加盟している事業所を対象に原子炉主任技術者、放射線取扱主任者、核燃料取扱主任者、衛生管理者、防火管理者等の実務経験のある専門家を派遣し、対象となった事業所の安全管理について様々な観点から確認、意見交換等を通じてその事業所の安全管理の向上に役立てるための活動を行っております。

今年度第 2 回目の活動は、11 月に東北大学金属材料研究所附属材料試験炉利用施設(大洗町所在)を対象に行う予定です。 次号にてその様子をご紹介いたします。

○安全教育に関する協力活動

・加盟事業所で企画主催する講演会･公開講座等への参画

① 公開講座「原子力発電所の高経年化対策」
（平成 13 年 7 月 12 日、原電東海主催）

② 公開講座「廃止措置技術の開発」
（平成 13 年 7 月 13 日、原電東海主催）

③ 講 演 会「21 世紀記念 報告と講演の会」
（平成 13 年 7 月 19 日、原研東海主催）

④公開講座「原子力の燃料サイクルを巡る世界の動向」
（平成 13 年 7 月 27 日、原電東海主催）

⑤講 演 会「最悪を回避するための平時の広報のポイント」
（平成 13 年 8 月 10 日､サイクル機構東海主催）

⑥講 演 会「 JCO 事故時のサイクル機構の活動とその後の対応」
（平成 13 年 9 月 12 日､原電東海主催）

左側写真は､9 月 12 日
原電東海における講演
会及び質疑の様子

○情報交換に関する協力活動

① 事故･トラブル情報の交換

・東海再処理施設 第 2 アスファルト固化体貯蔵施設の換気系の停止
・材料試験炉（ＪＭＴＲ）原子炉施設の手動停止（原因及び対策）

② NS ネット主催「第 3 回管理者セミナー」への協賛

水戸市内において、ＮＳネット会員を対象とした「第 3 回管理者セミナー」が開催されました。当セミナーには東海ノアも協賛、ＮＳネット未加入の事業所や事務局から 11 名が参加し、安全意識の向上を図りました。 次ページに概況をご紹介いたします。

なお、ＮＳネットホームページ(アドレス http://www.nsnet.gr.jp)でもセミナーの概要を掲載しておりますので、興味のある方はご覧下さい。

ＮＳネット「第３回管理者セミナー」

１．日時　　平成１３年８月２３日（木）１３：３０～１７：２０

２．場所　　水戸市内　　常陽藝文センター

３．内容

(1) ＮＳネットの活動報告

(2) 講 演 会

演 題 ：「技術倫理は企業を救うか
―ﾘｽｸﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄとしての技術倫理ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ―」

講 師 ：金沢工業大学教授　札野 順　氏

(3) ピアレビューによる良好事例の紹介

①原子燃料工業（株）東海事業所
・ヒューマンエラーのデータベース化とその活用
・ＳＤ（ｽｷﾙ・ﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄ）教育による個人レベルの技術力の向上ならびにヒューマンエラーの防止

②日本核燃料開発（株）
・「不適合管理システム」の着実な定着
・誤操作事象の抽出・対策実施によるトラブル発生の未然防止　他

③東京電力（株）福島第一原子力発電所
・風土改革運動
・個人単位の資格認定研修　他

ＮＳネット 梅津事務局長の挨拶

ピアレビュー良好事例の紹介

緊急時に対応するための活動

○班別打合せの開催（平成 13 年 7 月 6 日～7 月 23 日）

○本部長付打合せの開催（平成 13 年 7 月 17 日）

○総合訓練の実施(平成 13 年 7 月 30 日)

原子燃料工業株式会社東海事業所を発災想定事業所とし、火災及び負傷者の発生を想定した総合訓練を実施しました。総合訓練の実施は、昨年の 9 月 30 日に引続き、第 2 回目となります。今回の訓練では、昨年の課題等を踏まえ、能動的な活動を行うため、原研東海研究所に設置した協力活動本部から現地指揮者として副本部長 1 名、及び現地指揮者補佐として本部長付 1 名を発災想定事業所に派遣しました。その他、情報収集活動や環境放射線モニタリング活動、さらに負傷者の搬送訓練等を行いました。

訓練には、発災想定事業所を除く 20 事業所から 130 名が参加しました。

次ページに訓練の様子をご紹介します。

○通報連絡訓練の実施

① 平成 13 年 7 月 19 日

・発災想定事業所：東京大学大学院工学系研究科附属原子力研究施設

・茨城県主導の無予告通報連絡訓練において、東海ノアへの協力要請が通告されました。

② 平成 13 年 7 月 31 日

・発災想定事業所：日揮株式会社技術研究所

・茨城県主導の無予告通報連絡訓練において、東海ノアへの協力要請が通告されました。

平成 13 年度　総合訓練

放射線管理班員の集結

協力活動本部の情報収集班
及び情報分析班

発災事業所の対策本部で情報収集にあたる現地指揮者･現地指揮者補佐
及び情報収集班員

協力活動本部の大型表示盤に表示
される発災事業所対策本部の様子

訓練終了後、本部員に挨拶する
前田安全協力委員会委員長

加盟事業所からの紹介

当社の「平成 13 年度安全衛生活動計画／活動状況」について

ニュークリア･デベロップメント株式会社（略称：ＮＤＣ）

当社は、昭和 47 年 4 月に設立された三菱重工業㈱高砂研究所東海試験場と昭和 61 年 12 月に設立された三菱原子力工業㈱（平成 7 年 1 月 三菱重工業㈱と合併）東海研究所のそれぞれの業務を継承し、原子燃料、原子炉材料および原子燃料サイクル分野の試験･研究･開発専業会社として、平成 2 年 4 月に発足しました。

現在、全社員一同「安全最優先」の社方針のもとに、「原子力施設」の安全確保と社設立以来の無災害記録の継続に向け、日々、安全衛生活動・教育・訓練等を推進しているところです。

当社の安全衛生活動は、年度単位で作成の「安全衛生活動計画書」（安全衛生・交通安全管理計画、教育・訓練計画等を含む）に基づき進めております。

以下に、今年度の安全衛生活動計画に基づく活動状況（実施状況）の一端をご紹介致します。

(1)「交通安全講話」：　5 月に実施

今年度の「交通安全講話」は、埼玉県大宮市（現：さいたま市）ににありました当社の研究部門の東海村本社への集約の時期に合わせ、5 月に開催しました。ひたちなか西警察署の交通課長殿を講師としてお招きし、有意義な「交通安全講話」を拝聴しました。

埼玉県と茨城県の交通事情の違いを理解し、交通安全意識の向上・

安全運転に役立てております。現在、「構内＆通勤事故ゼロ」の活動目標に向かって交通安全街道を走行中です。

(2)「社安全教育」：　7 月に実施

今年度の「社安全教育」は、“ 世紀をこえて「安全第一」めざそう職場の危険ゼロ ” をスローガンとした第 74 回全国安全週間（7/1～7/7）中に、①一般安全　②放射線安全　③臨界安全　を主テーマに全社員受講を必須として実施しました。当日の欠席者については、後日もれなく同一の「社安全教育」を実施しました。

(3)「社内総合保安訓練」：　8 月 8 日午後に実施

今回の「社内総合保安訓練」は、東海村消防署の参加を得て下記要領で実施しました。

（ｲ）訓練想定：燃料試験棟 化学分析室において火災の発生を想定。

（ﾛ）本訓練では、東海村消防署から消防隊が出動する。

（ﾊ）主な訓練項目：①防護活動本部運営訓練

②消防隊対応／防護隊指揮所運営訓練

③管理区域負傷者搬出／救急車による搬送訓練

④プレス発表（模擬記者会見）

今回は、東海村消防署のご協力を得て、自治体消防隊の対応訓練(消防隊の現場への誘導、消防隊との合同消火活動等)が経験できました。この貴重な経験を今後の教育・訓練等に役立てて行く所存です。

以 上

消防隊現場到着
（ 訓練の様子 ）

防護活動本部運営
（ 訓練の様子 ）

◎ 今後の活動予定

・安全協力委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０月
・平成 13 年度第 1 回安全教育研修 ・・・・・・・・・・１０月
・平成 13 年度第 2 回自主保安に関する点検協力活動 ・１１月
・活動推進幹事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２月
・通報・招集訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２月

☆ 編集後記

東海ノア通信 第４号から、『加盟事業所からの紹介』を掲載しております。東海ノア通信の目的である「情報の交換、共有化」という観点から、有益な情報をお待ちしております。

東海ノアに関するご要望、ご質問等についても事務局までお寄せ下さい。

(東海ノア協定事務局)